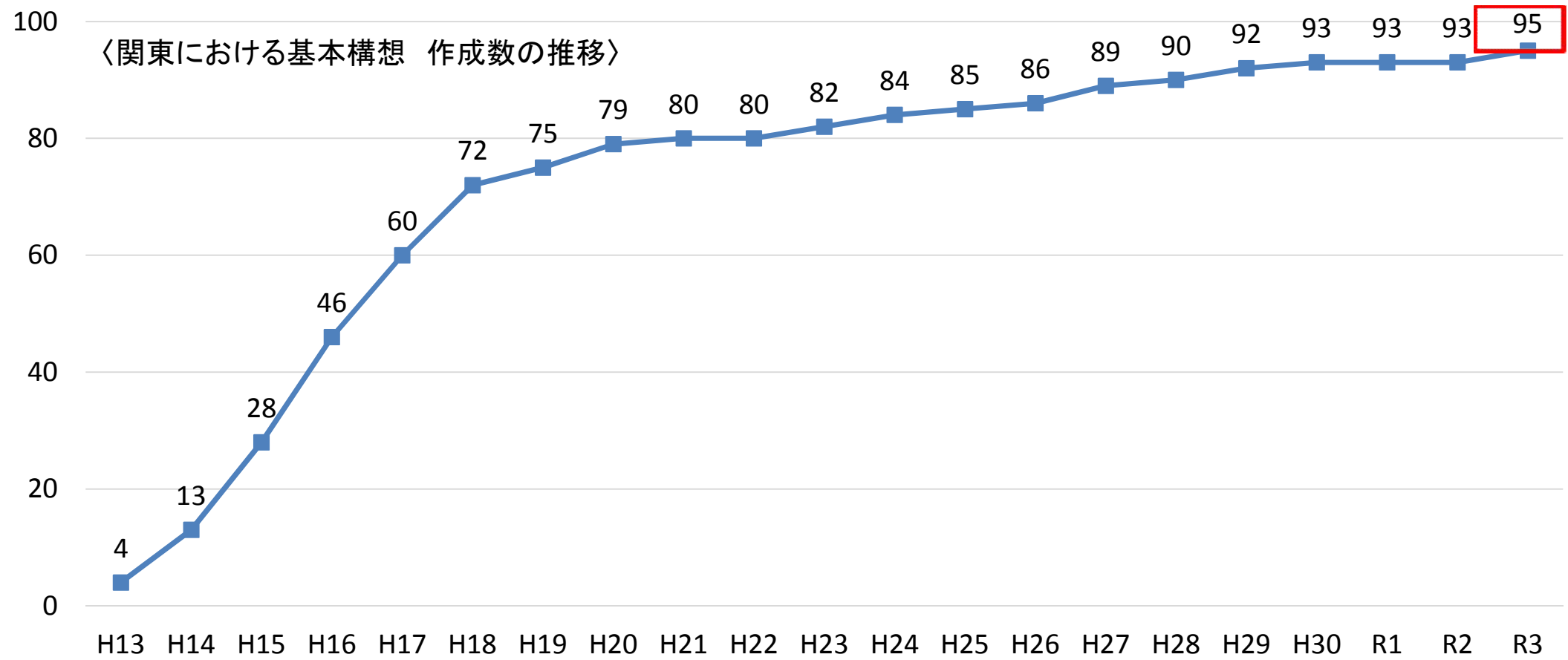


関東における基本構想・マスタープランの作成状況

関東における基本構想の作成状況（令和3年度末時点）

・関東における基本構想は、95市区町において作成されており、作成率は27.7%となっている。
 ・人口規模が比較的大きい「市・区」で見ると、作成率は約4割となっており、そのうち政令市・中核市・特別区は7割以上となっている。



	作成率		作成数					作成率	
	全国	関東	市・区	政令市	中核市	その他の市	特別区	町	村
作成率	18.2%	27.7%	41.7%	100.0%	75.0%	31.3%	91.3%	5.0%	0.0%
作成数	316 / 1741	95 / 343	90 / 216	5 / 5	9 / 12	55 / 176	21 / 23	5 / 100	0 / 27

都県別 基本構想の作成状況 (令和3年度末時点)

・都県別に見ると、神奈川県(51.5%)、東京都(48.4%)が比較的高い作成率となっている。

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県
作成数	7	9	3	11
作成率	15.9%	36.0%	8.6%	17.5%
	7 / 44	9 / 25	3 / 35	11 / 63
うち市・区の作成率	21.9%	57.1%	25.0%	22.5%
	7 / 32	8 / 14	3 / 12	9 / 40

	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県
作成数	14	30	17	4
作成率	25.9%	48.4%	51.5%	14.8%
	14 / 54	30 / 62	17 / 33	4 / 27
うち市・区の作成率	37.8%	61.2%	78.9%	30.8%
	14 / 37	30 / 49	15 / 19	4 / 13

	作成数	作成率	うち市区の作成率
全国	316	18.2%	35.7%
		316 / 1741	291 / 815
関東	95	27.7%	41.7%
		95 / 343	90 / 216

※赤塗り箇所：
全国平均以上
※青塗り箇所：
全国平均以下

関東におけるマスタープランの作成状況(令和3年度末時点)

- ・バリアフリー法の改正において、マスタープラン制度が創設(平成30年11月施行)。
- ・マスタープランは移動等円滑化促進地区において、面的・一体的なバリアフリー化の方針を示すもの。
- ・関東におけるマスタープランは、6件作成されている。
- ・全国では22件作成されている。

	大田区	千葉市	春日部市	戸田市	新宿区	武蔵野市
作成年月	令和2年3月	令和3年3月	令和3年4月	令和3年4月	令和3年11月	令和4年3月
名称	大田区移動等円滑化促進方針 (おおた街なか“すいすい”方針)	千葉市バリアフリーマスタープラン	春日部市中心市街地バリアフリー計画	戸田市移動等円滑化促進方針 (バリアフリー促進方針)	新宿区移動等円滑化促進方針	武蔵野市バリアフリー基本構想2022 ※マスタープラン兼ねる

※関東運輸局管内では、R4年6月現在までに国分寺市、日野市も作成・公表済み